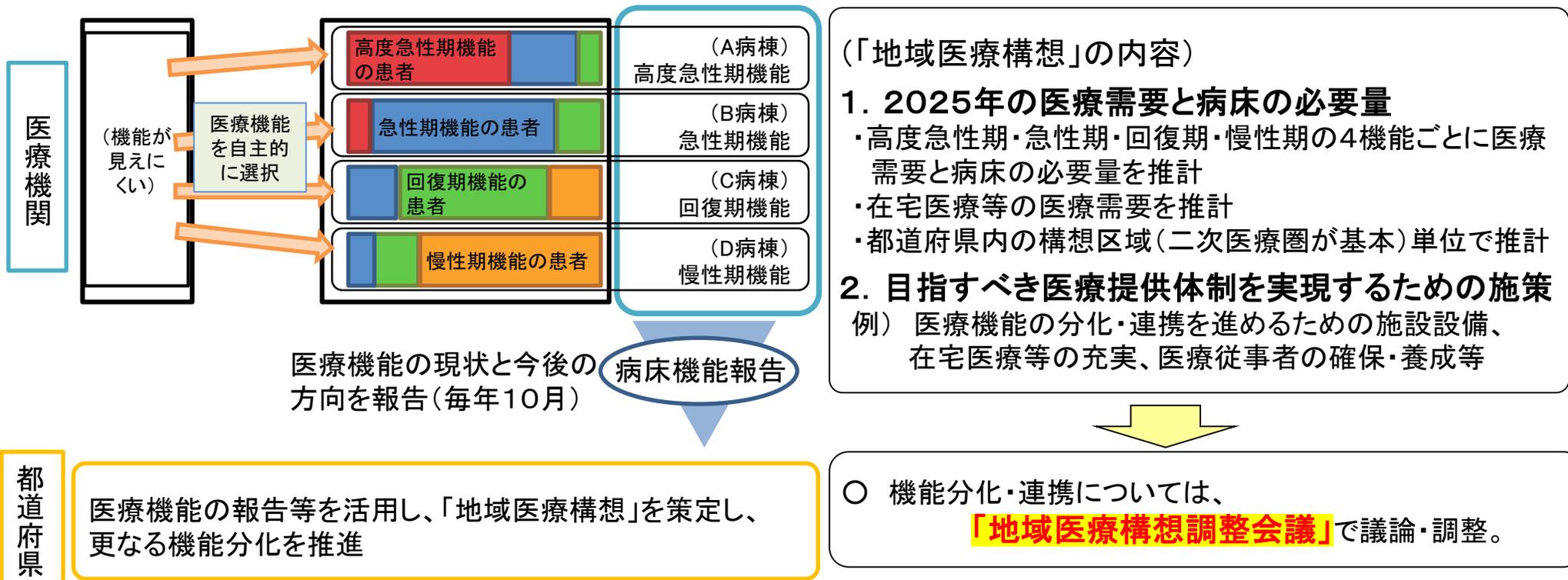


# 京都府地域包括ケア構想について (京都府における地域医療構想)

# 地域医療構想について

- 今後の人口減少・高齢化に伴う医療ニーズの質・量の変化や労働力人口の減少を見据え、質の高い医療を効率的に提供できる体制を構築するためには、医療機関の機能分化・連携を進めていく必要。
- こうした観点から、各地域における2025年の医療需要と病床の必要量について、医療機能(高度急性期・急性期・回復期・慢性期)ごとに推計し、「**地域医療構想**」として策定。  
その上で、各医療機関の足下の状況と今後の方向性を「**病床機能報告**」により「見える化」しつつ、各構想区域に設置された「**地域医療構想調整会議**」において、病床の機能分化・連携に向けた協議を実施。



# 京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について

## 【京都府地域包括ケア構想（必要病床数の国推計）】

2016年度時点

2021年度

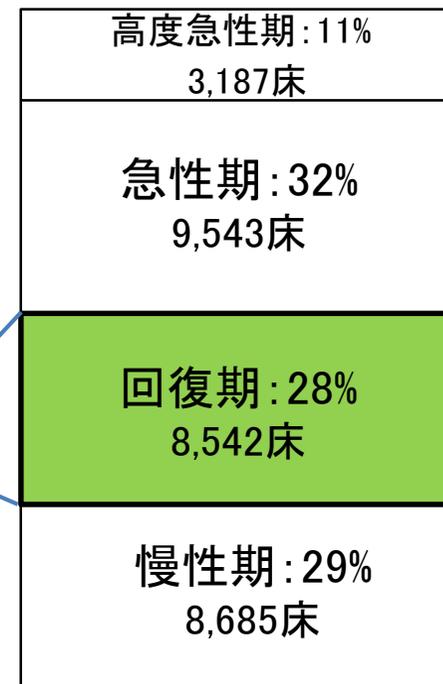
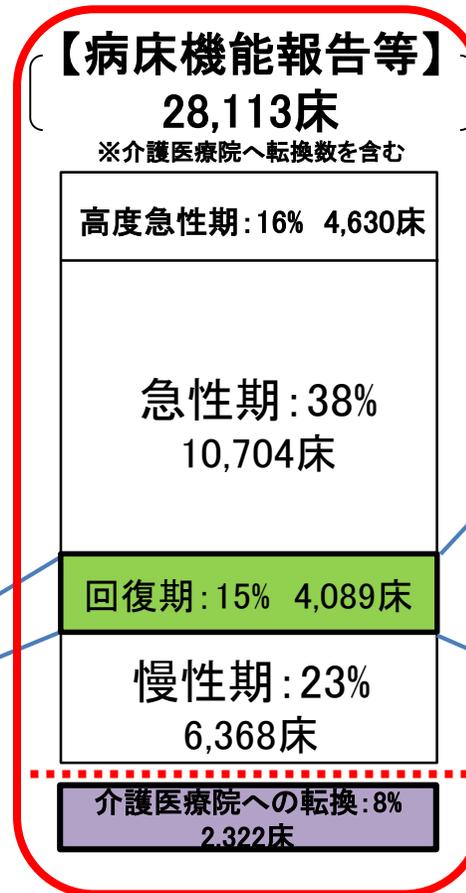
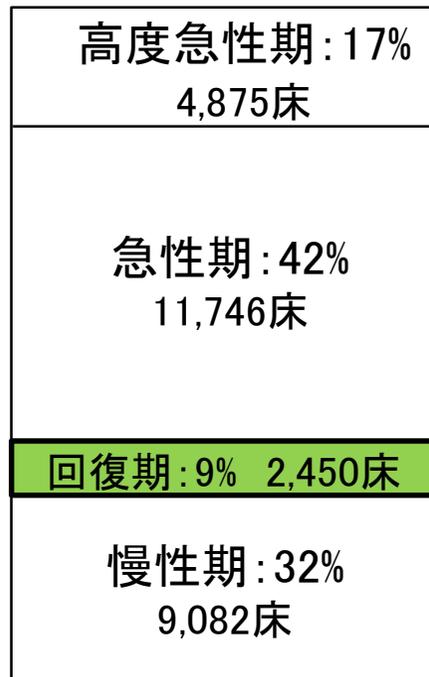
2025年（国推計）

【許可病床】  
29,690床

【入院患者実態調査】  
28,153床

【病床機能報告等】  
28,113床  
※介護医療院へ転換数を含む

【2025年ビジョン】  
29,957床



※医療系への機能転換  
※新たな類型への転換

※介護医療院への転換数は高齢者支援課調査より

# 急性期・回復期病床に係る定量的な基準（京都方式）について①

病床機能報告では、各医療機関が「病棟単位」で4機能区分を判断し報告。特に急性期病床には、急性期と回復期の患者が混在し、それらを急性期機能として報告するなど定義・基準が曖昧。このため、急性期機能を「**重度急性期**」と「**地域急性期**」に分類し、「**地域急性期**」を**回復期と見なす**ことで、実情に即した医療機能や供給量を把握する。  
**（令和元年度から適用）。**

平成29年度病床機能報告から作成

H30京都市地域医療構想調整会議資料

4機能	大区分					京都方式(案)		現状 (H29病床機能報告)		
	主に成人		周産期	小児		緩和ケア				
高度急性期	救命救急・ICU・SCU・HCU 390床	高度急性期＋重症急性期(仮) (8,683床)	MFICU NICU・GCU 96床	PICU	小児入院医療管理料1 30床		10,267床	44.6%	16,482床	56.9%
急性期	一般病棟 地域包括ケア病棟 13,252床		産科一般病棟 産科有床診療所 790床	小児入院医療管理料2・3・4 小児科一般病棟7:1 264床		緩和ケア病棟 (放射線治療あり) 14床				
回復期	回復期 リハビリ病棟 1,831床	地域急性期(仮) ＋回復期 (4,569床)		小児入院医療管理料5 小児科一般病棟7:1以外 小児科有床診療所 216床			6,617床	28.7%	3,324床	11.5%
慢性期	療養病棟 特殊疾患病棟 障害者施設等 5,878床					緩和ケア病棟 (放射線治療なし) 266床	6,144床	26.7%	9,139床	31.6%
							23,028床		28,945床	

病棟の中には、様々な病態の患者が混在しているが、急性期を重症急性期と地域急性期に区分し、地域急性期を回復期とみなすものとする。

# 急性期・回復期病床に係る定量的な基準（京都方式）について②

## 【地域急性期（回復期）機能として報告する基準】

R1京都市地域医療構想調整会議資料

	5病棟以上の病院	4病棟以下の病院
京都・乙訓	(区分A) 重症度:25%未満	(区分B) 重症度:12%未満
京都・乙訓以外	(区分C) 重症度:22%未満	(区分D) 重症度:12%未満

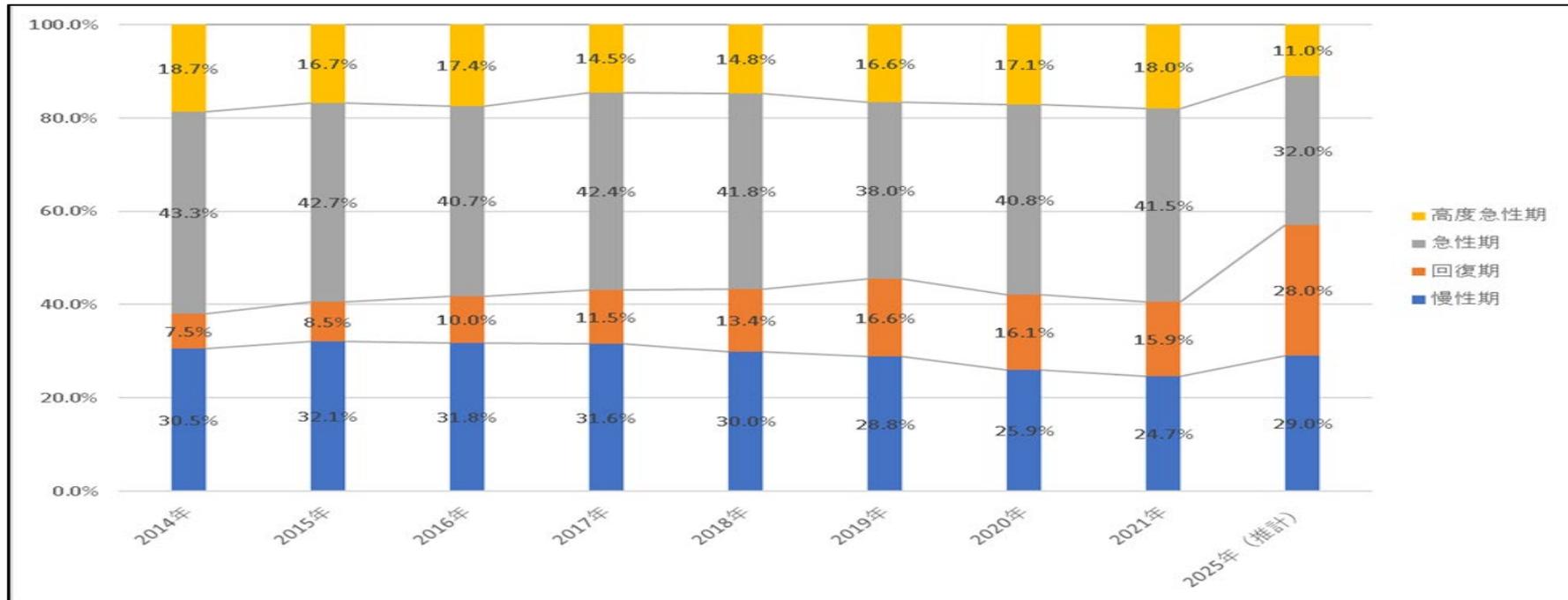
# 病床機能報告の結果

※2019年(令和元年度)から定量的な基準の導入(京都方式) ⇒ 「地域急性期」

	高度急性期		急性期		回復期		慢性期	
2014年	5,401	18.7%	12,528	43.3%	2,162	7.5%	8,816	30.5%
2015年	4,853	16.7%	12,386	42.7%	2,462	8.5%	9,305	32.1%
2016年	5,049	17.4%	11,787	40.7%	2,910	10.0%	9,213	31.8%
2017年	4,198	14.5%	12,284	42.4%	3,324	11.5%	9,139	31.6%
2018年	4,182	14.8%	11,849	41.8%	3,801	13.4%	8,488	30.0%
2019年	4,606	16.6%	10,546	38.0%	4,624	16.6%	8,006	28.8%
2020年	4,529	17.1%	10,787	40.8%	4,259	16.1%	6,858	25.9%
2021年	4,630	18.0%	10,704	41.5%	4,089	15.9%	6,368	24.7%
2025年(推計)	11.0%		32.0%		28.0%		29.0%	

## ※地域急性期

サブアキュート機能(軽・中等症患者の救急受入れ機能)やポストアキュート機能(長期急性期患者や回復期患者の受入れ、治療機能)を中心に、回復期的な機能も含めて幅広く担っていく急性期病床



# 国への進捗報告について

## 【概要】

- 令和4年3月24日付け厚生労働省医政局長通知に基づき、主に以下のポイントが示される。
  - ・2022年～2023年において、民間医療機関も含めた各医療機関の対応方針の策定や検証・見直しを行うこと。
  - ・2022年～2023年において、公立病院は病院毎に「公立病院経営強化プラン」を地域医療構想調整会議に協議の上、策定すること。
  - ・検討状況を定期的に公表（2022年度においては2022年9月末及び2023年3月末時点の状況）する。

## 【国への報告イメージ】

### 1. 全体（2及び3の合計）

	総計	対応方針の策定・検証状況					
		合意・検証済		協議・検証中		協議・検証未開始	
病床数ベース	床	床	%	床	%	床	%
医療機関数ベース	機関	機関	%	機関	%	機関	%

### 2. 公立・公的医療機関等（平成29年度病床機能報告未報告等医療機関を含む。）

	総計	対応方針の策定・検証状況					
		合意・検証済		協議・検証中		協議・検証未開始	
病床数ベース	床	床	%	床	%	床	%
医療機関数ベース	機関	機関	%	機関	%	機関	%

### 3. 2以外の医療機関（平成29年度病床機能報告未報告等医療機関を含む。）

	総計	対応方針の策定状況					
		合意済		協議中		協議未開始	
病床数ベース	床	床	%	床	%	床	%
医療機関数ベース	機関	機関	%	機関	%	機関	%

## 個別医療機関の病床機能等の見直しについて

## 1 病床機能報告結果

区 分		病床機能報告				必要病床数 (推計)
		H28 (2016)		R 3 (2021)		R 7 (2025)
京都・乙訓	高度急性期	4,675	25%	4,192	25%	12%
	急性期	6,343	34%	5,962	36%	32%
	回復期	1,695	9%	2,414	14%	28%
	慢性期	6,156	32%	3,699	22%	28%
	その他	—		502	3%	—
	病床計	18,869	100%	16,769	100%	100%
	介護医療院	—		2,189		
A (北・上京・左京)	高度急性期	2,616		2,160		
	急性期	1,354		1,454		
	回復期	642		806		
	慢性期	1,049		649		
	その他	—		317		
	病床計	5,661		5,386		
	介護医療院	—		238		
B (西京・右京)	高度急性期	417		444		
	急性期	1,073		1,027		
	回復期	246		375		
	慢性期	932		446		
	その他	—		50		
	病床計	2,668		2,342		
	介護医療院	—		223		
C (中京・東山・下京・南)	高度急性期	1,043		970		
	急性期	2,177		2,081		
	回復期	483		601		
	慢性期	904		522		
	その他	—		50		
	病床計	4,607		4,224		
	介護医療院	—		276		
D (山科・伏見)	高度急性期	599		618		
	急性期	1,739		1,400		
	回復期	324		632		
	慢性期	3,271		1,732		
	その他	—		85		
	病床計	5,933		4,467		
	介護医療院	—		1,452		

2 個別医療機関の見直し状況（予定含む）

（令和3年1月～令和4年3月）

ブロック	行政区	病院名	見直し点
A	北	洛北病院	慢性期 138 床 → 慢性期 96 床 ※令和3年6月に介護医療院 42 床転換
B	右京	高雄病院	慢性期 120 床 → 慢性期 113 床
	右京	西京病院	急性期 50 床、慢性期 50 床 → 急性期 0 床、慢性期 0 床 ※令和元年 10 月に、介護医療院 50 床転換
C	中京	京都逡信病院	急性期 43 床、回復期 56 床 → 急性期 0 床、回復期 99 床 ※令和4年度内に転換予定。回復期病床への転換。
D	伏見	金井病院	急性期 52 床、慢性期 99 床 → 急性期 43 床、回復期 40 床、慢性期 45 床

※前回は令和3年3月書面開催にて報告済（令和2年1月～令和2年12月時点）

## 介護医療院への転換状況について

(令和 4 年 3 月時点)

ブロック	行政区	病院名	転換時期 (予定含む)	転換内容		備考
A	北	洛北病院	R 3. 7 R 4 年度中	医療療養: 48 床 介護療養: 90 床	医療療養: 80 床 介護医療院: 58 床	一部転換済み
	北	京都北野病院	R 2. 4	介護療養: 60 床	介護医療院: 60 床	診療所開設
	上京	同仁病院	R 2. 1 0	一般: 39 床 介護療養: 60 床	一般: 39 床 介護医療院: 60 床	
	左京	いわくら病院	R 1. 7	介護療養: 60 床	介護医療院: 60 床	その他、精神 科病床あり
B	右京	嵯峨野病院	R 2. 4	医療療養: 60 床 介護療養: 120 床	医療療養: 60 床 介護医療院: 120 床	
	右京	西京病院	R 1. 1 0	一般: 50 床 医療療養: 50 床 介護療養: 50 床	介護医療院: 50 床	診療所開設
	右京	高雄病院	R 4 年度中	介護療養: 53 床	介護医療院: 53 床	転換予定
C	東山	京都久野病院	R 1. 1 2	一般: 120 床 医療療養: 115 床 介護療養: 165 床	一般: 120 床 医療療養: 115 床 介護医療院: 165 床	
	下京	木津屋橋武田病院	R 1. 1 0	一般: 39 床 介護療養: 111 床	介護医療院: 111 床	診療所開設
D	山科	京都東山老年サナ トリウム	R 2. 2	医療療養: 230 床 介護療養: 600 床	医療療養: 230 床 介護療養: 60 床 介護医療院: 540 床	その他、精神 科病床あり
	伏見	なごみの里病院	H 3 1. 2	医療療養: 232 床 介護療養: 466 床	医療療養: 232 床 介護医療院: 466 床	
	伏見	五木田病院	R 1. 8	介護療養: 193 床	介護医療院: 193 床	病院施設廃止
	伏見	蘇生会総合病院	R 2. 3	一般: 230 床 医療療養: 60 床 介護療養: 60 床	一般: 230 床 医療療養: 60 床 介護医療院: 60 床	
	伏見	京都南西病院	R 2. 4	医療療養: 76 床 介護療養: 59 床	医療療養: 76 床 介護医療院: 59 床	
	伏見	松ヶ崎記念病院	R 2. 9	介護療養: 134 床	介護医療院: 134 床	診療所開設